

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Relationship between hyperemesis gravidarum and small-for-gestational-age in the Japanese population: the Japan Environment and Children's Study (JECS)

和文タイトル: 妊娠悪阻とSmall-for-Gestational-Age (SGA)との関連に関する研究 (JECS)

ユニットセンター(UC)等名: 福岡UC

サブユニットセンター(SUC)名: 九州大学SUC

発表雑誌名: BMC Pregnancy and Childbirth

年: 2016 月: 8 巻: 16:247 頁:

筆頭著者名: 諸隈誠一

所属UC名: 福岡UC

目的:

妊娠悪阻とSGAとの関連を明らかにすること

方法:

第1次一部固定データ・2011年末までの出産済データ(全体)を用いた。サンプルサイズは8631組である。妊娠悪阻に関しては質問票から得られたつわりに関する回答を用いた。共変量に、母体の年齢、非妊時BMI、出産児数、喫煙、飲酒、学歴、収入を用いて多変量解析を行った。

結果:

妊娠悪阻の症例は880例(10.2%)であった。リスク比は0.91(95%CI 0.67-1.23)であった。

考察:(研究の限界を含める)

つわり、妊娠悪阻に関する情報は、質問紙により得られた情報であり、妊娠悪阻による入院加療に関する情報が含まれていない点は、本研究の限界である。

結論:

妊娠悪阻はSGAの有意なリスク因子ではなかった。